

日本島嶼学会隠岐大会実施要領

日時：2012年9月8日(土)～10日(月)
会場：島根県隠岐 海士町・隠岐の島町
(主催)日本島嶼学会
(共催)海士町・隠岐の島町・西ノ島町・知夫村
(後援)島根大学

【隠岐大会開催趣旨】

全体テーマ「小さな島の自治力・発展力」

1998年の学会創立以来、大会は島嶼の自治体・住民・学術諸団体の協力の下、開催してきた。今年次の大会は島根県の隠岐諸島で開催する。隠岐諸島は4島4町村からなり、それぞれ「小さくても輝く島」としての道を歩んでいる。中でも、島前中ノ島 海士町では現状とこの間の取組の成果を踏まえ、2009年度からの第四次総合振興計画「島の幸福論—海士ならではの笑顔の追求—」を策定している。わずか人口2,400人という海士町が20～30歳代の若者のIターン(2010年度までに310人)や高校の学級増の実績などの人材育成、さらには地産地消の面でも産業振興策によって成功を収めている。さらなる前進を目指し、島根大学の海士研究グループ(研究代表、保母武彦・地域経済学)による調査が進められ、島嶼学会にあわせて単行本が出版される。今大会は海士町のこうした長年にわたる取り組みと展望を全国的に発信し、お互いに学ぶ場とする。

●大会スケジュール(予定)

9月7日(金) 14:00～ 会場設営・理事会

9月8日(土) 会場：海士町隠岐開発総合センター

9:00～ 特別講演：山内道雄(海士町長・大会名誉実行委員長)

基調講演：保母武彦(島根大学名誉教授)

10:30～12:00 シンポジウム「小さな島の人づくり」(仮称)

(詳細は別紙シンポジウム「小さな島の人づくり」)

13:00～ 会員研究発表

16:30～ 学会総会

18:00～ 懇親会(会場：海士町キンニャモニャセンター)

9月9日(日) 会場：海士町隠岐開発総合センター

9:00～ 会員研究発表

13:00～ 中ノ島巡検(後鳥羽院資料館・隠岐神社・隠岐潮風ファーム・名水百選「天川の名水」・イワガキと天然塩生産施設・海藻研究施設 など)

※終了後、菱浦16:43発の内航船で別府17:15発のフェリーしらしまに接続、隠岐の島に移動。

※到着後、宿泊先旅館で島おこし有志と交流会。

※10日菱浦08:04発のフェリーでも西郷でのシンポに途中参加可能。

9月10日(月) 会場：隠岐の島町五箇生涯学習センター

9:00～ 国境フォーラムin隠岐(詳細は別紙「国境フォーラムin隠岐」を参照)

13:00～ 島後巡検

コース1「隠岐の自然と西郷」：隠岐自然館・ジオパーク関連施設・西郷港町徒歩案内・隠岐コンミーンなど

*大阪行15:05発便(空路)、七類行15:10発便(フェリー)に接続。

コース2「島後西部周回」：隠岐郷土館・水若酢・白島展望台・海苔田鼻・二本松・浄土が浦・乳房杉・自然館

**本コースに参加の場合、西郷で宿泊が必要。

午前中 出前授業(島根県立隠岐島前高等学校：海士町)

●総会委任状提出のお願い

総会に欠席される方は別紙の委任状に署名・捺印し、学会事務局あてにファックス・郵送、またはe-mailでお送りください。e-mailの場合、捺印は不要です。

●研究発表申し込み

発表申込 研究発表申し込み締め切りは、**6月15日(金)必着**とします。別紙の発表申込用紙を、下記宛先までe-mail・ファックス・郵便などでお送りください。

立石雅昭 〒950-2074 新潟市西区真砂三丁目18-28
FAX : 025 (233) 7233
e-mail : m. tateishi3@gmail.com

要旨集原稿 要旨集版下原稿の締め切りは**7月20日(金)**です。印刷の日程を確保するため、締め切りの厳守にご協力ください。A4版2枚以内、横書きで、周囲に30mm以上の余白をとってください。字数・行数は自由、図版・写真の挿入も可ですが、印刷は白黒です。大会実行委員会では発表要旨に手を加えませんので、**そのまま印刷可能な版下原稿**を作成してください。

版下原稿の送付方法 手書きまたは紙出力原稿を郵送するか、版下原稿のファイルを**e-mail**でお送りください。ファイル形式はMicrosoft Word形式(.docまたは.docx)かAdobe PDF形式(.pdf)、フォントはMacOSまたはWindowsで標準的なフォントに限り、その他のファイル形式やフォントで作成する場合はあらかじめお問い合わせください。郵便・宅配便で送る場合は、若干お早めにお送りください。

要旨送付先

須山 聡 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1駒澤大学地理学科
e-mail: mars@komazawa-u.ac.jp
TEL & FAX: 03 (3418) 9259

発表時の資料提示

会場にMicrosoft PowerPointをインストールしたPCを用意します。ご使用の方はファイルをUSBメモリに保存し、発表当日にご持参ください。

また、発表に必要な配付資料は発表者が必要部数(およそ50~70部)をご準備ください。

●参加申し込みと諸経費

①大会参加費(8~10日) : 一般(会員・非会員) = 2,000円, 大学院生・学生 = 500円
隠岐諸島住民 = 無料

②発表要旨集(必須) : 1,000円

③昼食(8~10日) : 8日・9日 = 各1,000円, 10日 = 800円

④懇親会(8日) : 参加費 = 3,000円

⑤中ノ島巡検(9日13:00~) : 参加費 = 1,000円

⑥島後巡検(10日13:00~) : コース1(入館料含む) 参加費 = 1,000円
コース2(入館料含む) 参加費 = 3,000円

⑤、⑥の巡検参加者はそれぞれ弁当の申し込みもお願いします。

⑦西郷島おこし有志との懇親交流会 : 参加費 = 5,000円 (松浜は別途6,400円で1泊朝食付き宿泊可)

⑧宿泊 : 7~10日の宿泊は海士町観光協会の手配します。宿泊希望日を申込み書にご記入ください。

⑨船便 : 本土および隠岐諸島間の利用希望便についてお書き込みください。

①~⑨について、別紙の参加申込書に必要事項を記入し、ファックス、または郵送で早めに海士町観光協会にお申し込みください。

●諸経費の支払い

別紙参加申し込みを頂いた後、海士町観光協会窓口担当者の方から確認の電話が入ります。この確認後、それに沿って経費総額を、下記 山陰合同銀行に振り込んでください。振り込み〆切は7月31日です。

振込先金融機関・山陰合同銀行 海士支店 普通口座 口座番号・2066357
口座名義：海士町観光協会 会長 中村等光

●大会会場

8・9日 年次大会・総会：隠岐開発総合センター（海士町大字海士1490 08514-2-1221）
懇親会：海士町キンニャモニャセンター（海士町福井1365-5 08514-2-0101）
10日 隠岐の島町五箇生涯学習センター（隠岐の島町郡74 08512-2-2111）

●宿泊施設：別紙参加申込書にてお申し込みください。

海士町：マリンポートホテル海士（海士町福井1375-1 08514-2-1000）

相部屋で1泊2食10,650円、1泊朝食付き7,500円）。

※希望によっては菱浦港近辺の民宿（1泊2食7,350円）も斡旋します。

隠岐の島町：旅館松浜（隠岐の島町港町塩口84：08512-2-0163）

9日懇親交流会参加者は参加費5,000円。宿泊者は相部屋使用、1泊朝食付き6,400円。

10日宿泊、1泊2食8,400円。

以下のホテルは相部屋使用1泊2食13,650円。

アイランドホテルしまじ（隠岐の島町港町天神原80-22：08512-2-1569）

隠岐ビューポートホテル（隠岐の島町中町目貫の四54-3：08512-2-7007）

ほかに民宿（相部屋1泊2食付き7,350円）も斡旋します。

●交通：

- ・本土と隠岐諸島間、および9日の中ノ島巡検終了後の隠岐の島西郷への船便については、当日各港の窓口にて各自でお申込み・お支払い頂きます。ご利用の船便については、申込み用紙にてご連絡ください（事務局にて移動数の把握のため）。フェリーの予約は不可ですが、高速船は予約が必要です。（予約先：隠岐汽船 08512-2-1122）予約についても各自でお願いいたします。
- ・8日の年次大会に午前中から参加する場合、7日の前日泊が必要となります。10日は島後での開催ですので、参加者は9日の巡検終了後に移動し、9日夜は島後泊となります。また、10日午後の巡検コース1は、本土への便に間に合うよう予定を組んでいます。コース2は10日、西郷隠岐の島町泊となります。

●大会実行委員会

山内道雄（海士町長・大会名誉実行委員長）・立石雅昭（新潟大名誉教授・実行委員長）・長嶋俊介（鹿児島大・実行委員会事務局長）・須山 聡（駒澤大学）・波多紀昭（海士町議会）・上園昌武（島根大）・小室勇樹（海士町さくらの家）・青山富寿生（海士町観光協会事務局長）・美濃芳樹（海士町総務課）・大江和彦（海士町産業創出課）・吉元 操（海士町財政課）・高梨勇光（隠岐の島町企画財政課）

●連絡先 〈学会・隠岐大会全般〉

長嶋俊介 〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター
Tel. 099-285-7393 fax. 099-285-6197 携帯080-3108-2100
mail nag@kagoshima-u.ac.jp

シンポジウム「小さな島の人づくり」
2012年9月8日 午前10時半～12時
会場:海士町隠岐総合開発センター

コーディネーター (株) タマノワ代表 玉沖仁美
パネラー
ソトコト副編集長 小西 威史
総務省過疎対策室長 山口祥義
島根県しまね暮らし推進課長 坪内 清
隠岐島前高校魅力化プロデューサー 岩本 悠

国境フォーラムin隠岐—シンポジウム— への誘い

2012年9月10日(月)

会場 隠岐の島町五箇生涯学習センター(隠岐の島町五箇郡 08512-5-9011)

主催:日本島嶼学会・北海道大学グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」

共催:隠岐の島町・海士町・西ノ島町・知夫村・境界地域研究ネットワークJAPAN・北海道大学スラブ研究センター(一部予定)

開催趣旨

近年国境をめぐる議論は活発である。新海洋法対応や国境離島振興をはじめとして政策議論から具体実施段階にまで展開が進んでいる。隠岐には、隠岐騒動(隠岐コンミュンとも呼ばれる)の歴史があり、大陸由来岩石や関連植生などに関わるユネスコ(現段階では日本内登録)ジオパーク登録に向けた動きがある。また漁師記録再発見で竹島記録の再編も進みつつある。韓国側の活発な動向も頻繁に報道されている。

これら問題を考える、政治学を核にする学際アプローチとして境界論がある。それらを当事者性のある空間で考えることは意義深い。日本島嶼学会では、2007年日本島嶼学会与那国大会を皮切りに、国境フォーラムを継続してきた。その展開は北大スラブ研のGCOEプログラム「境界研究の拠点形成」の協力も得て進展し、今回初めての日本海中央域での開催となった。

是非多様な立場、専門家の方々の参集をいただき、幅広い議論を期待したい。隠岐の島々の方々からの発信にも期待したい。

終了後視察・巡検ツアーも企画している。有償ガイド制度確立を進めている有志の方々の熱意も是非吸収していただきたい。

次 第

- 8:30 受付開始
9:00 開会宣言
9:01 挨拶 松田和久 隠岐の島町長
9:15 斎藤一志 隠岐の島でのジオパークガイドをはじめとする多様な取り組み
9:50 休憩 (ポスターセッション:黒曜石, ジオパーク, 竹島史料など)
10:10~12:00 シンポジウム「国境フォーラムin隠岐」
司会 岩下明裕 (北海道大)
パネリスト 全 京秀 (ソウル大)
安溪遊地 (山口県立大)
松田和久 (隠岐の島町長)
コメンテーター 古川浩司 (中京大)
12:00 閉会挨拶 鈴木勇次 会長

別紙

日本島嶼学会 2012 年度総会委任状

年 月 日

日本島嶼学会隠岐大会にて，9月8日に開催される2012年度学会総会に欠席します。議決権を会長・議長・会員（ ）に一任します。

会員氏名：

押印もしくは署名

*議決権を委任される方に○を付してください。

参加される会員に委任される場合はその方の氏名を（ ）内にお書きください。

この委任状は下記学会事務局宛お送りください。

日本島嶼学会事務局

〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター 長嶋俊介

電話 099-285-7393, FAX 099-285-6197 ; メール nag@cpi.kagoshima-u.ac.jp